

駒場博物館

ダンヌンツィオに夢中だった頃

—ガブリエーレ・ダンヌンツィオ生誕150周年記念 関連企画

# 「ダンヌンツィオの詩、 トステイの歌」演奏会

2013年10月28日(月) 16:30-18:00

東京大学教養学部 駒場コミュニケーションプラザ北館2階 音楽実習室



Gabriele D'Annunzio  
Pescara 1863 - Gardone 1938

テノール：小川桂一郎 ピアノ：大澤悠子 解説：村松真理子

本演奏会は、テーマ講義

「ダンヌンツィオに夢中だった頃 — テキストと時代の関係を考える」の  
一環として開催されるものですが、どなたでもご来場いただけます。

入場無料 定員 120名 全席自由 予約不要

主催：東京大学教養学部 フランス語・イタリア語部会

共催：東京大学教養学部 ピアノ委員会

協賛：駒場友の会



ダンヌンツィオの終の住処「ヴィットリアーレ」野外劇場「パルラッチョ」

## Program

幻 Visione!...

2つの小夜曲 Due piccoli notturni

バラの香りに Van gli effluvi de le rose

下弦の月の大鎌よ O falce di luna calante

アマランタの4つの歌

Quattro canzoni d'Amaranta より

第3曲 むなしく祈って In van preghi

第4曲 何を語る、賢者の言葉よ

Che dici, o parola del Saggio?

休憩

死ぬには Per morire

そうなってほしい Vorrei

神秘 Arcano

なぐさめ Consolazione より

第1曲 もう泣かないで Non pianger piu'

第5曲 夢見て、夢見て、愛しいお母さん

Sogna, sogna, mia cara anima!

第6曲 9月 Settembre

第8曲 色あせたカーテンの間から

Mentre che fra le tende scolorate...

哀愁 Malinconia より

第4曲 では、さようなら Or dunque addio!



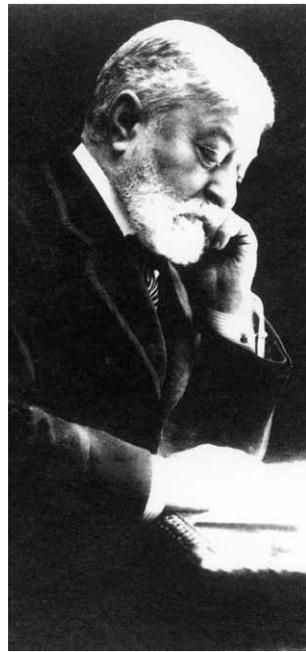
Francesco Paolo Tosti  
Ortona 1846 - Roma 1916



## ガブリエーレ・ダンヌンツィオ

Gabriele D'Annunzio (1863-1938)  
イタリアの小説家・詩人・劇作家

中部イタリアのベスカーラに生まれる。イタリア近代詩を完成させた20世紀文学の先駆的存在。作品は生前からフランス、アメリカにおいても広く知られ、日本では上田敏、森鷗外や生田長江、有島生馬等の翻訳で多くの読者に読まれた。戦後は三島由紀夫が戯曲を訳している。代表作は小説『快樂』『死の勝利』、詩集『アルキオーネ』等。文化人として広く政治社会風俗に影響を与え、初期無声映画「カピリア」の字幕を手がけたことや、エレオノーラ・ドーゼ、サラ・ベルナルルらの女優が彼の戯曲を演じたこと、トスティ、レスピーギ、ドビュッシーなど、多くの音楽家がその詩や戯曲に作曲したことも知られる。1938年ガルダ湖畔ガルドネで死去。



## フランチェスコ・パオロ・トスティ

Francesco Paolo Tosti (1846-1916)  
イタリア近代歌曲の創始者

ベスカーラの南方、アドリア海沿いの町オルトーナに生まれる。12歳でナポリ音楽院に入学し、ヴァイオリンと作曲を学ぶ。卒業後、オルトーナの聖トマゾ大聖堂付属音楽隊で働いたあと、ローマで音楽家として成功し、イタリア王室の音楽教師を務めた。30歳代からはイギリスに定住し、ヴィクトリア王室の音楽教師、王立音楽院の教師等を務め、その功績により準男爵の称号を授かる。1916年ローマで死去。彼が作曲した400を超える歌曲は、平明で豊かな情感をもち、現在に至るまで世界中の人々に愛され、歌われ続けられている。同郷の友人ダンヌンツィオの詩に作曲した歌曲は、30曲以上にのぼる。

## プロフィール

### 小川 桂一郎 (テノール)

東京大学大学院総合文化研究科(広域科学専攻)教授。東京大学理学部化学科卒。同大学院理学系研究科化学専攻博士課程中退。理学博士(東京大学)。専門は有機物理化学・有機結晶化学、とくに結晶中の有機分子の運動と反応。修士課程在籍中にイタリア政府奨学生としてミラノ工科大学に留学。主な著書:『基礎から学ぶ有機化合物のスペクトル解析』(共著、東京化学同人、2008)、『新版現代物性化学の基礎』(共著、講談社、2010)。在学中から声楽を学び、東京で渡辺美智子、築地文夫、入江進氏に、ミラノでGiovanna Canetti、Giuseppe Costa氏に師事。ダンヌンツィオ生誕150周年記念講演・演奏会(東京大学教養学部、2013年4月)に出演。

### 大澤 悠子 (ピアノ)

東京大学文学部思想文化学科(美学芸術学)卒業、武蔵野音楽大学大学院博士前期課程(ピアノ)修了。第1回・第2回東京大学教養学部選抜学生コンサート、武蔵野音楽大学修士課程新人演奏会出演。2012年～“すろあーとすとーりー”(能楽、絵画、音楽、書道等のコラボレーションイベント)を企画・出演。2013年、ドビュッシー《前奏曲》全曲によるリサイタルを開催。これまでにピアノを大澤恵子、奈良滯子、A. v. アルニムの各氏に、伴奏法を三ッ石潤司氏、作曲を野崎勇喜夫氏に師事。現在、武蔵野音楽大学附属音楽教室講師、聖徳学園中学高等学校講師、ピアノ新人会会員。本年11月15日、ピアノ新人会「室内楽の夕べ」に出演予定。

### 村松 真理子 (解説)

東京大学大学院総合文化研究科(地域文化研究専攻)准教授。東京大学文学部イタリア文学科卒。同大学院人文科学研究科仏文学専攻イタリア文学専修博士課程修了。文学博士(東京大学、ポロニャ大学)。専門はイタリア文化、特に中世ルネサンス期と20世紀の文学。主な著書:『Il buon suddito del Mikado. D'Annunzio japonisant』(Milano, Archinto Editore, 1996)、Basho, *Poesie* (Milano, Vita Felice, 1996)、A. タブッキ著『イタリア広場』(白水社、2009)、*Segni e voci dalla letteratura italiana. Da Dante a D'Annunzio* (Tokyo, UTCP, 2012)。

## ダンヌンツィオに夢中だった頃

——ガブリエーレ・ダンヌンツィオ (1863-1938)

### 生誕150周年記念展

東京大学駒場博物館 特別展

2013年10月19日[土] - 12月1日[日]

会場: 東京大学 駒場博物館

入場無料 開館時間: 10:00-18:00 (入館は17:30まで) 休館日: 毎週火曜日

イタリア「ダンヌンツィオ150年」記念委員会、「日本におけるイタリア2013」(イタリア外務省)公式行事

### 関連企画 (いずれも無料・予約不要、東京大学駒場1キャンパス内)

- ・ギャラリートーク1 「ダンヌンツィオ——人生と(いう)作品」  
講師: 村松真理子 (本学准教授)  
10月19日(土) 16:15～16:45 駒場博物館1F展示室
- ・ギャラリートーク2 「ヴィットリアーレ——作品としての家」  
講師: 宮坂真紀 (本学非常勤講師)  
11月16日(土) 14:00～15:00 駒場博物館1F展示室
- ・ギャラリートーク3 「ダンヌンツィオと世紀末パリのジャポニスム」  
講師: 高階絵里加 (京都大学人文科学研究所准教授)  
11月30日(土) 14:00～15:00 駒場博物館1F展示室
- ・高校生のための金曜特別講座「ダンヌンツィオって誰？」  
講師: 村松真理子  
10月25日(金) 17:30～19:00 (17:00開場) 18号館ホール
- ・演奏会「ダンヌンツィオの詩、トスティの歌」(解説つき)  
テノール: 小川桂一郎 (本学教授) ピアノ: 大澤悠子  
解説: 村松真理子  
10月28日(月) 16:30～18:00 音楽実習室(コミュニケーションプラザ北館2F)
- ・国際シンポジウム「ダンヌンツィオに夢中だった頃——国際詩人の軌跡とMishimaが交わる時」  
講師: ジョルダノ・ブルーノ・グエッリ (ヴィットリアーレ財団長)  
井上隆史 (白百合大学教授) 司会: 村松真理子  
11月2日(土) 15:00～18:00 学際交流ホール(アドミニストレーション棟3F)
- ・東京大学2013 第64回駒場祭 博物館特別講座「鷗外、漱石、三島も読んだダンヌンツィオ」  
講師: 村松真理子  
11月23日(土) 10:30～12:00 21KOMCEE レクチャーホール